

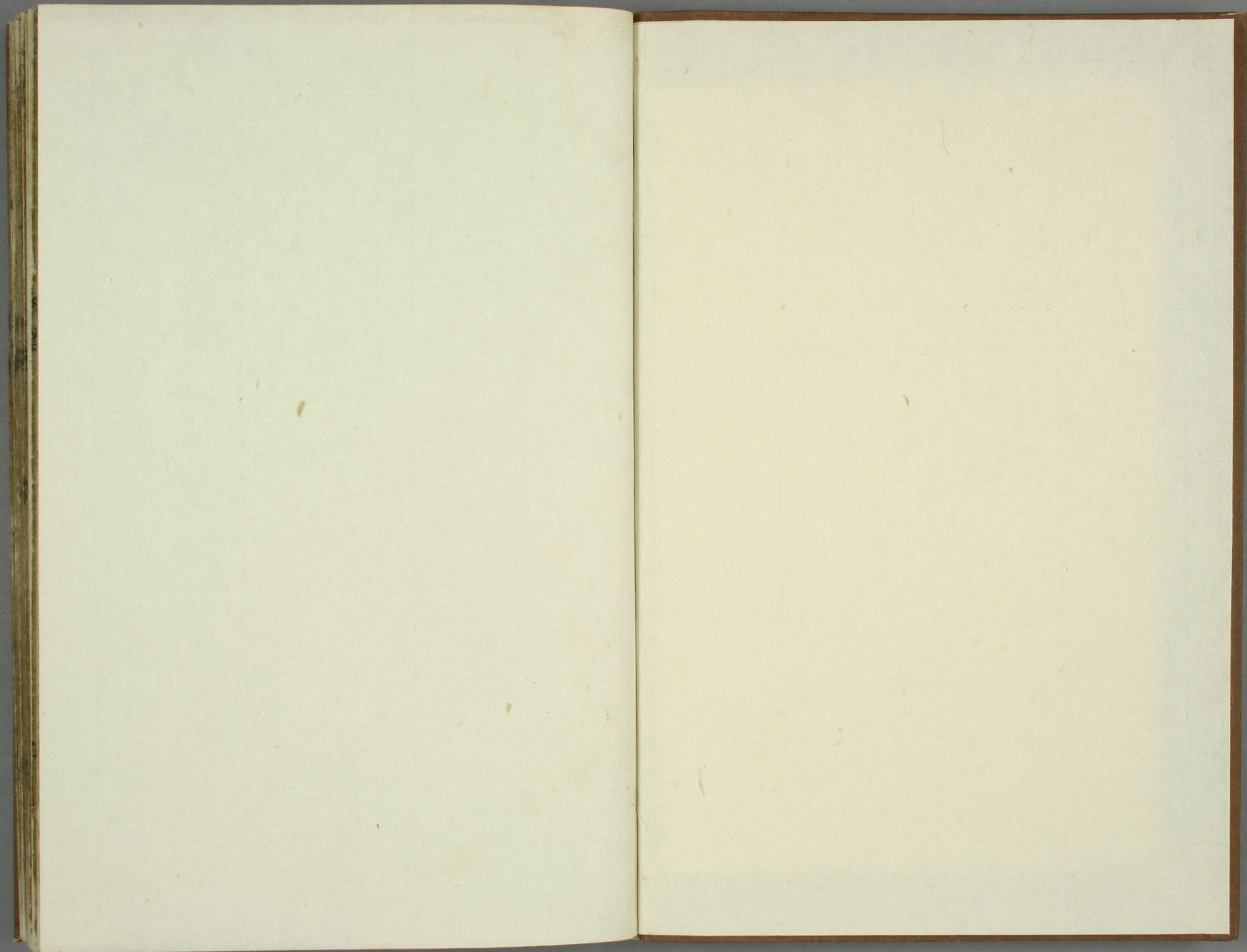


塵劫記 卷之第二

|      |
|------|
| 特別   |
| 二 2  |
| 4127 |
| 2    |









塵劫記卷之第二目錄

十 金沼あかくれ寺

十一 やぶうりくいの寺

十二 美利是れ寺

十三 まぬうりくいの寺

十四 くら舟のくいの寺

十五 かののうんちんの寺

十六 ちう守の法回万地子てんじ練目ほり寺





ひる

め

才十

金浪あかへの事

一丁浪のう七拾の末の時よきまのうき内二わり  
引よし七くるとまさいハハんまじれ浪よ灰吹  
ろふちとたるとうやまよ

○灰吹七百八拾目よかるとよめ

法よ九百七十の末よ八とくくれ七百八拾目と  
まろ

一又灰吹七百八拾目よ時よ 丁浪のて内二より  
まよまよ 右よ灰吹よ丁浪のやとまよ同時  
○丁浪のう七拾の末より一候とよめ



こま、まにきて右の戻りよ  
かゝるとそり

○丁紙のろ七拾五糸よりろとろ  
去りいりる八百拾五糸より十二とろ



○

○三分じまうちを九七をゆく店さん  
うををハ一下三てあはるわ

○三分まーなとをハ一下三をりけ  
内を五七てわりのやとるまけ

内を五七てわりのやとるまけ

一内二わり五分とりの時ハ右よ十と五十の内を

二五引時おて七五りるあ七五よてらんわり

のやしりの時よ七五をくくあるわ

又らんまりまーとりの時ハ七五ゆて刻て

一なと二わりの六分をくくりの時りりりーとまハ

十二六にてわりのわ

又ま守時を十二六をくくろこ 必お返がかり

○二わりりーうちは八りてあはる店さん  
うをを十二てあはるやとるわ

うをを十二てあはるやとるわ

○二わりまーなとを十二てくくあるまけ  
うちを八りてわりのやとるまけ

うちを八りてわりのやとるまけ

一金拾五をまやまき 判金のお場派五百廿の系

あ人よまて丁派よくるときき 右を金り丁派

何れもくく回時り

○丁派三百目よちるとりの

片子の法よ判金一板のあ四十四各あり

判金



お備五百或拾り糸と四十回よむりえ金七糸付  
派拾二糸つよなるこ糸を金廿の糸よかゝれ  
派三百目と志るなり

皆初心成人ハめけよ群とそハあてよよわて  
あゝぬさん用かかた此志ようこあり

金七糸四つり糸と判金のお備五百目替の時  
五百目と四十四て刻ハ金七糸付派十糸三  
六リ之毛六糸三忽ツよあつりこそよみこの  
金七糸中つハリとくらぬ

○派拾四糸九り九毛九糸五忽よぬこ  
めけよてま入てあよ守まてあきさんちり  
一金七糸四つり糸の時とんのお備五百目あへよ  
し七右と金七派かふわくたよ同時り

○派拾五糸よぬこりあ  
法よ金七糸四分りよお備五百目とくれば  
三七四よたかそを四十四てよ糸の半五糸と  
ちるへしそよきさんこけはあむりよふり  
一派拾五糸よ耐り判金お備五百目よまて  
右と派よ金七糸わくたよとくりやまきり

○金七糸中つハリよぬこりあ



法よ八十の末よ四十四とくくれば七四よる  
 これをね備五百目よきしは金とさる  
 一金三百拾七条七ふかりありあるを判金とくくの時よ  
 内九拾六条九ふり 判一物<sup>さい</sup>付<sup>さい</sup>廿八条あり  
 内百廿二条六ふり 同き<sup>さい</sup>物<sup>さい</sup>付<sup>さい</sup>四拾二条替  
 内八拾二条三ふりハ同き<sup>さい</sup>物<sup>さい</sup>付<sup>さい</sup>四拾七条替  
 右三つあり判金うふりくくるときは  
 ○判金七物<sup>さい</sup>六ありしるりといふ

法よ九拾六条九ふり三拾八条にしてしは二物  
 五条あり成○又百廿二条六ふり四拾二条あり  
 割時三物<sup>さい</sup>三ありしるり○又百廿二条三ふりあり  
 四拾七条ありてわりとまき一物<sup>さい</sup>七条ありしるり  
 三口合七物<sup>さい</sup>六ありしるり

一 小判二条一分ありまき 小判一条<sup>さい</sup>付<sup>さい</sup>六拾め  
 あり此お場<sup>さい</sup>よき 右三つありしるり  
 ね何あり  
 右三つありしるり

○ 派七拾の末ありしるり  
 法よ二条一分と右よまき一分を同じてわら  
 二条二五よ成は小判のお場<sup>さい</sup>六拾目とくく  
 右小判あり派七拾の末とまきしるり



一金四十四あり ○一二 加下の十二  
 ○二四 加下北廿四 ○三六 加下北卅六  
 ○四九 加下の冷四 ○逢四十四進の一十  
 一進四十三あり ○一二 加下の十四  
 ○二四 加下の北八 ○三六 加下四十二  
 ○四九 加下北十三 ○逢四十三進の一十  
 一小一まん十六わり  
 ○一 六二五〇二 一二五 〇三 一八七五  
 ○四 五二〇五 三一二五〇六 三七五  
 ○七 四三七五 〇八作五 〇九 五六二五

**第十一**

やまうりくひれ

一きん又存銀にて拾六本のさうげの時よき系存  
 せよふおわくつにあつらひて四時り

○き系よ六十又つよ成とつよ

法よぬろ六十人と右よなき九り拾六本と五  
 右よ十六本あてはぬ六つ又ゆしきり

一子七拾の本ある時一費又存十六本の時り

右の派よ後何なりとるやとあ時り

○後の人さ百り千四なりはぬとつよ

法よ派七拾の本をたすぬをたよ六十又ゆしき



右より子一より其めたり一四黄五百又一より  
四黄又よ四四の百六十又と加入の百又一より又  
四六廿四又と加入し時四八六百八拾四又と知  
一後四黄六百拾四又の時さうだ十六又よ一七  
みもこれせいのう子ハ何れもなると同しきり

○派七拾五系は成とりの

法一四黄六百八十四又と右よ進て六百又て  
四六廿四又ひきて四黄又て四四の百六十又と  
りをもふ時四黄めろ又よなるこれをおそ  
はて時派七拾五系は成なり但し十六系の  
時ハよくとせよの極この時をあらまきり  
一派七拾五系ハ分のりは時派のさうだ一黄又付  
十の系の時右を派よせようふれくと同し

○四黄三百廿四又よ成とりの

法よ派七拾五系ハ分のりを右よ進十の系よ  
右をわねえ四黄三百廿四又よ成とよとせ  
先五又の下で四を五又よふけて四五廿とり  
四又八と成又二十又よも廿又の下で二四の  
八と引時四黄三百廿拾四又よとさるる  
このさんのさうひとつれよも



○後よりのお堪てかきをわらうとす

百よりうち八回をわけてり

一 算入三百二十四又五時一變又百十の定ま  
んまこれによるいりわくたを向とす

○派七拾七各八分五リは成とす

法一 百よりうち此二十四又一四をうけて  
加入し先亦又よ二四此八中し加入又四又よ  
四四十六中し加入し時四人三百二十五又り  
る所也一 ね場十八各とわくれを派七十七各  
八分五リは成とす

第十一

美の利足事

一 派中百式拾四各りりし時 二わり五分よきて

この派中利せよたふわとす 問也

○派中の格の系り 成中しり

法よ百の十とを右り 垂れよ二あともして  
け二五のうへよ十をうり人垂付十二五と成と  
二山を百式拾四各よるれ右と成とす

一 派中利せよ合百と拾五各を利と二わり五分こ  
右と派の内利二より五分引て中派何れくと同

○中派百式拾四各りりたる也



法は百五十の米とあり一五九は二市の五分と  
五七十と加へる時十二五と成るれりて右の  
米百五拾の米としはる米と成るるなり

一本米三百五拾目と 一ヶ月より二又子と  
時ハ半米百目付二系ツのあとなり右と  
子又子より十二月分此米利舎何なりと  
○本利米百目付二系ツのあとなり右と

法は右の三百五拾目と米をさうはる七系より  
さう七系より十二月とさうはる八拾目より  
是へ三百五拾目とさうはる四百世四系と  
○一ヶ月より二又子にして十二月此米利舎は

米令四百世四系より右と本利何なりと  
○本米三百五十めりといふ

法は右の四百世四系と米をさうはる十二月は  
かられ廿四系よりたをさうはる一百日とさうはる  
冊百五拾目より成るして右の四百世四系を  
わらうとき本米三百の拾目とさうはる

一米の半より四拾五名は時 け利二わり六分は  
去る本利より米何なりとさうはる

○四百世四系七系は成といふ



○ 法より三斗四拾石を右に五石より二わり六分と  
をきうへし十をさへする時十二六とあるれを  
右の三斗四拾石より三斗四拾石七斗  
やしきうへし

一米中利廿一四百廿四石七斗五二わり六分り  
かうふわくたてし

○ 廿三百四十石を右に二斗  
法より三斗四拾石七斗と十二六ゆてわりし時  
中米三百四拾五石とあるれ

一米三百四拾五石の時 右に利二より六分り  
きりしりし

○ 廿九石七斗を右に  
法より右の三斗四拾五石より二六をかくれを  
八十九石七斗やし

一米中利より四百廿四石七斗ありときけりハ  
二わり六分り時米何れも同時

○ 利八十九石七斗を右に  
法より四百廿四石七斗より二わり六分とあるれハ  
一一三下二二とあるを十二六ゆてわりし時よ  
り八拾九石七斗より



一斗米八十七石五斗 二斗りりして三年の月此  
斗利廿五何れくろくとう時

○百五十石三斗三升六合一匁とす

法り十二と元<sup>さ</sup>八拾七石十二と三と三  
くくハ斗利三年の月米と知る

一斗斗利廿一 百五十石三斗三升六合一匁とす  
二斗りりして三年の月斗利何れくろくとう時

○斗米八十七石よたるとす

法り一斗百五拾石三斗三升六合一匁とす  
十二と三と三とハ斗米と知る

一斗斗米三拾石五斗 三年の月りりして時よ

りりめ此斗ハ五斗り 二年めを四斗り五分  
三年目も三斗り 右三年の月斗利合て何れく

ろくとうとすに

○斗利九拾八石五斗二合又よ一匁と云

法り一斗斗米廿五石よ十斗とかけて又十四斗と  
うけて又十三とくくハ九拾八石五斗六斗三合  
のりやとす

一斗米三年の月斗利九拾八石五斗六斗三合五斗  
五斗 初年五斗り 二年目も四斗り五分と



三年目ハ三ツヤリ 五十八石六斗二合又メの内  
右の利を引いて本何れと云ふ事

○廿世五石より云々と云ふ

はよぬ拾り石五斗六斗二合又メと右よ地を以て  
三年目の利三ツヤリ也 元小重又十と云ふ事  
十三と云ふ事これ引いて右よ九石八斗六斗  
二合又メをわたり時七拾六石五斗六斗二合  
又二斗と十四と云ふ事引いて右よ廿二石五斗六斗  
是と又十五と云ふ事引いて右よ三拾五石一斗二合也  
云々

才十三

きぬうりくひなり

一きぬりんめん乃丈尺寸也しりあまを大工の  
くひり一尺二寸をわけて一尺と云ふ  
一もんめん一もん付代紙五斗六斗二丈五尺  
五寸一尺ハ紙何れと云ふ事

○二斗と云ふ事

はよぬ本を右よ五斗五合五合と云ふ事  
又の本よ田をうけて二斗と云ふ事  
一りんめん乃尺五寸五合ハ一丈一尺五寸と云ふ事  
五尺と云ふ事



○きあせらぬといふ

法一八定守よのあをかくれ六四二五とあり  
こゆを二夫のてはしきあせらぬといふ  
又四二五一四とありはきあせらぬといふ  
一治二系二つを時きんめん一とん存のあせらぬ  
かゝるきあせらぬのあせらぬといふ  
れいしやとありといふ

○一夫六定よぬといふ

法一三系二つと右よ五五系に刻時六四とぬ  
これよ二つをかくれ一夫六定とぬ  
又六甲とありて一夫六定とぬ  
一きぬ一夫とありて一夫六定の代治をうふ  
代世系のきんめにあせ一夫八定の代治をうふ  
れいしやとありといふ

○治拾九系二つあり白色ぬといふ

法よ是ももんめんれあのと向前一夫のあせらぬ  
世系とありは五甲と成これと二夫のあせらぬ  
よれ拾九系二つあり白色とぬ

一右と拾九系二つあり白色とぬ  
何れとあり向前一



○一丈八尺一寸五分六釐一忽と云

○はる廿四寸と云二丈八尺をうらむ五六一寸五分  
二筋を世目てわらむ時一丈八尺一寸五分六釐と  
云る也

一とん寸ははきもろくろの抽い本きとくろくろの  
くろくろの抽い本きとくろくろの抽い本きとくろくろの  
ありひの丈八尺もあり又ハ三丈二尺もありと  
さんハまぬと回ちのは信あり又坪はまらして  
さん用志を横とくろくろの抽い本きとくろくろの  
からと云は一卷の代紙と云りはくろくろの

第十四

くろくろの抽い本の事

- 一三人お合して美ありい抽いとくろくろの抽い本
- 一人の抽い本 六拾四人八百目と
- 一人乃紙は 廿二人二百目と
- 一人の抽い本 廿拾二費のみ目あり
- 三人此紙三口合而六拾費目あり

くろくろの目録

- 一らんきん 廿拾五拾斤と
- 一ちんきん 七十斤あり
- 一まきん 二百八拾卷と



一し

半百行

右の如く分三人して百六拾葉目よりいし  
三人を三人のりしつりつめんく  
つりつ一人おれ分めんく  
つりつとつりつ

○紙六拾四人八百目の分

一しんちん 而一きん十

一しんちん 廿八行十四

一まき抽い 百拾三卷一丈五尺二寸

一糸 二千四百二行

○紙の拾二葉九百目の分

一人多 少千一廿八

一沈垂 廿二行一丈

一卷抽 九十一卷一丈九尺九寸五分

一糸 二千七百拾五行百廿目

○紙四拾二葉九百目の分

一人多 六十七行一

一しんちん 十八きん

一まき抽 七拾五まき二尺八寸五分

一しんちん 二千七百拾二行四十



法一一人にちん二百の千まんかんをいよをいよして  
一人のりこ子六格の八八目をしていりり  
とまこいれをみまこの二百五十行りくくれを  
一六二とから先を三人の女流なる百六拾費目  
よそ一六二をいれい人多百一廿二五とちりて  
二五とつめりまれぬともま一廿一此れおめ  
百六拾目ありこれをして二五りりりくくれい  
百一廿四拾目とちり又一ぬとつめは百廿七  
四十目をいれりていれい百一廿十ぬとちり  
これ一人おのちんちんをいれり

○又法り二人のちんのちんも右のわりをうと  
同かほてまれじみり

○又ちんううのちりもいとをわちもちんちんは  
まわりとちりあうりていれりちり

○又まき物のいれり格巻を右りりおきて右よ又  
六拾目八八めをまてこれをしてまき物り  
くくれい一八一四と成是を三人のちんはさ  
百六拾費目て一八一四と刻ハ百十三巻回と  
ちり四とつめりまれぬともま一り一まきり  
かちん三まの定と右りりくくれい百十三ま



一丈めえ二寸とさうかめ  
あて二人此わりも  
はむちめちちりめちち

まひれちんめち

才十五

あひれちんめち

毎一乃うに米数百の拾石つきてつうくえん  
はくふ時うん獲百石付七石つと数百五拾石の  
内よそをふ付運ちん米うふれくちと回付

○運賃拾石三斗の米めつきた四石といふ  
はよ二百五拾石とあよをきて七石とくつれそ  
一七五りしあ又あよ百七石と運てこれにて  
右一七五としれ六拾石三斗の米めつきた  
四石とあよ

一又運賃も米のさも右くちとあよ一めのめ



本米リウカモウふ引くろく向くま

○武百世三名中平四石六丈とツカ  
はよ二百四石と有よき三石を百七石少て  
且れ中米二百世三石中四中合つた六丈  
也しちろ也

一米クハヨイツク入ぬ世下村沼格ま入武百目を  
又よちんまははり沼六丈八百目くす時よ  
沼二口合拾八費目あり

米のさうげ拾石 舟中四拾武米あり  
運ちん米拾石 舟中四拾武米あり

米クハヨイツク入ぬ世下村沼格ま入  
右に拾八費目はせうんちんツクいとまもふて  
米ろふ引くツクろく也さう也

○米七百拾石四斗はくくとり  
法りさうだ武百四拾二系ようんちんツカを  
くまの時よ武百の拾目よりろくをひりりよ  
也きて又右に拾八費目と置てけうち九拾目  
毛を引くおて拾七費のろ拾系よぬしを元の  
武百五拾目に右とよれは七百拾石中  
と



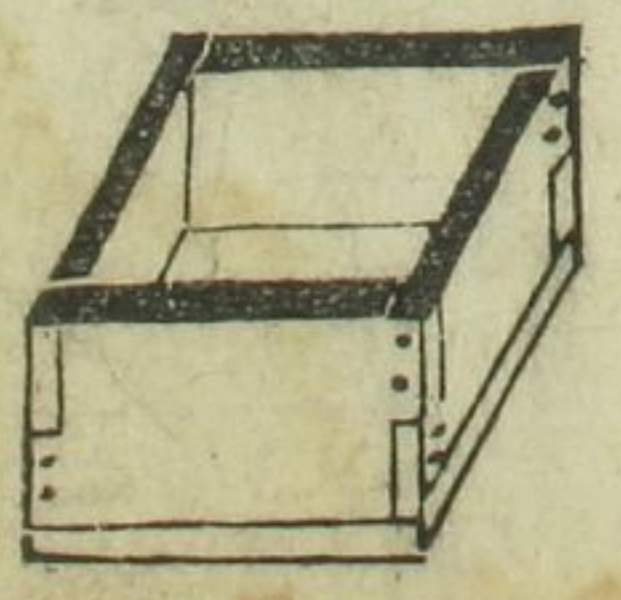
又よき人此まゝに造りて六丈の首目の所へも  
こめなふわくわくしてよきまゝに造りて

○或百七拾石の字をわくしあつて  
はよ七拾石の字をみもこりて  
六丈八尺目とくれば四八七一五二りなるを  
これと拾十八黄目とてわくし七拾石の字  
をわくしとる也

**第十六**

ちよの法此事 什百地は積あり  
ちよの法此事 什百地は積あり  
ちよの法此事 什百地は積あり  
ちよの法此事 什百地は積あり  
ちよの法此事 什百地は積あり  
ちよの法此事 什百地は積あり  
ちよの法此事 什百地は積あり  
ちよの法此事 什百地は積あり  
ちよの法此事 什百地は積あり  
ちよの法此事 什百地は積あり

○きり合ます  
ひろき 二寸二分七リ  
あき 一寸二分五分



○一合あり  
ひろき 二寸六分  
あき 一寸四分三リ五分  
○二合あり  
ひろき 二寸七分七リ  
あき 一寸五分七リ五分



○三合五方

ひろき 二寸九リ  
あさき 一寸六分九リウモ

○二合中寸

ひろき 三寸二分一リ  
あさき 一寸八分八リ七モ

○二合五方

ひろき 二寸四分五リ  
あさき 一寸五分六毛

○一合海寸

ひろき 三寸六分一リ  
あさき 一寸九分九リ

○四合五方

ひろき 二寸七分二リ  
あさき 二寸五リ

○五合中寸

ひろき 二寸八分一リ  
あさき 二寸七分五リ二モ

○四合五方

ひろき 四寸一リウモ  
あさき 二寸二分一リ

○六合中寸

ひろき 四寸一分二リ  
あさき 二寸二分九リ

○六合五方

ひろき 四寸二分四リ  
あさき 二寸二分四リ三モ

○七合海寸

ひろき 四寸三分五リ  
あさき 二寸三分九リ七モ

未巻



○七合五方

ひろき 四寸五分五リ  
あつさ 二寸四分五リ

○八合五方

ひろき 四寸五分  
あつさ 二寸五分一リ六毛

○九合五方

ひろき 四寸六分  
あつさ 二寸五分六リ

○一合五方

ひろき 四寸七分  
あつさ 二寸六分七毛

○二合五方

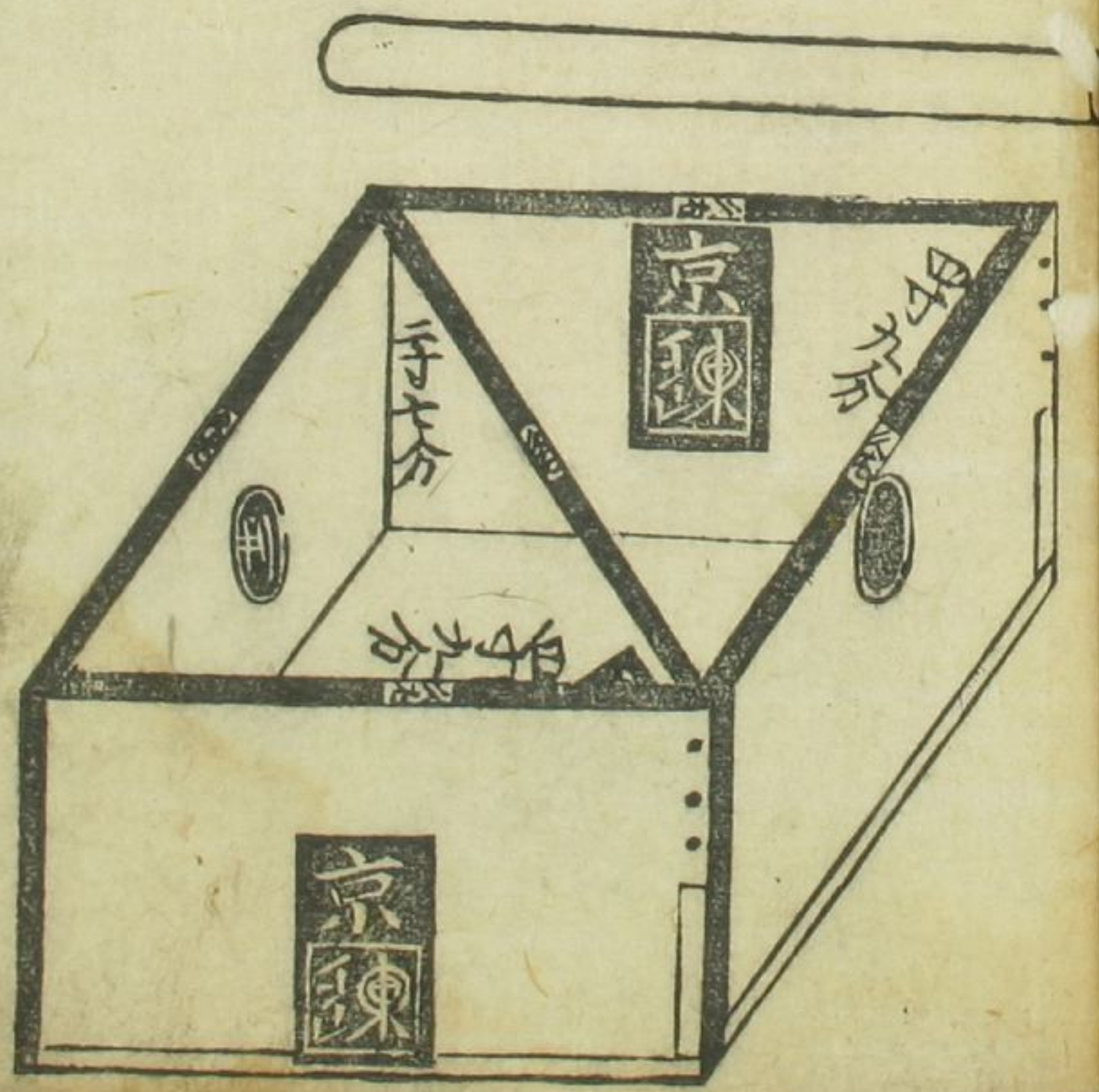
ひろき 四寸八分  
あつさ 二寸七分六リ

○三合五方

ひろき

四寸九分

あつさ 二寸七分



○四合五方

ひろき 五寸一分七毛

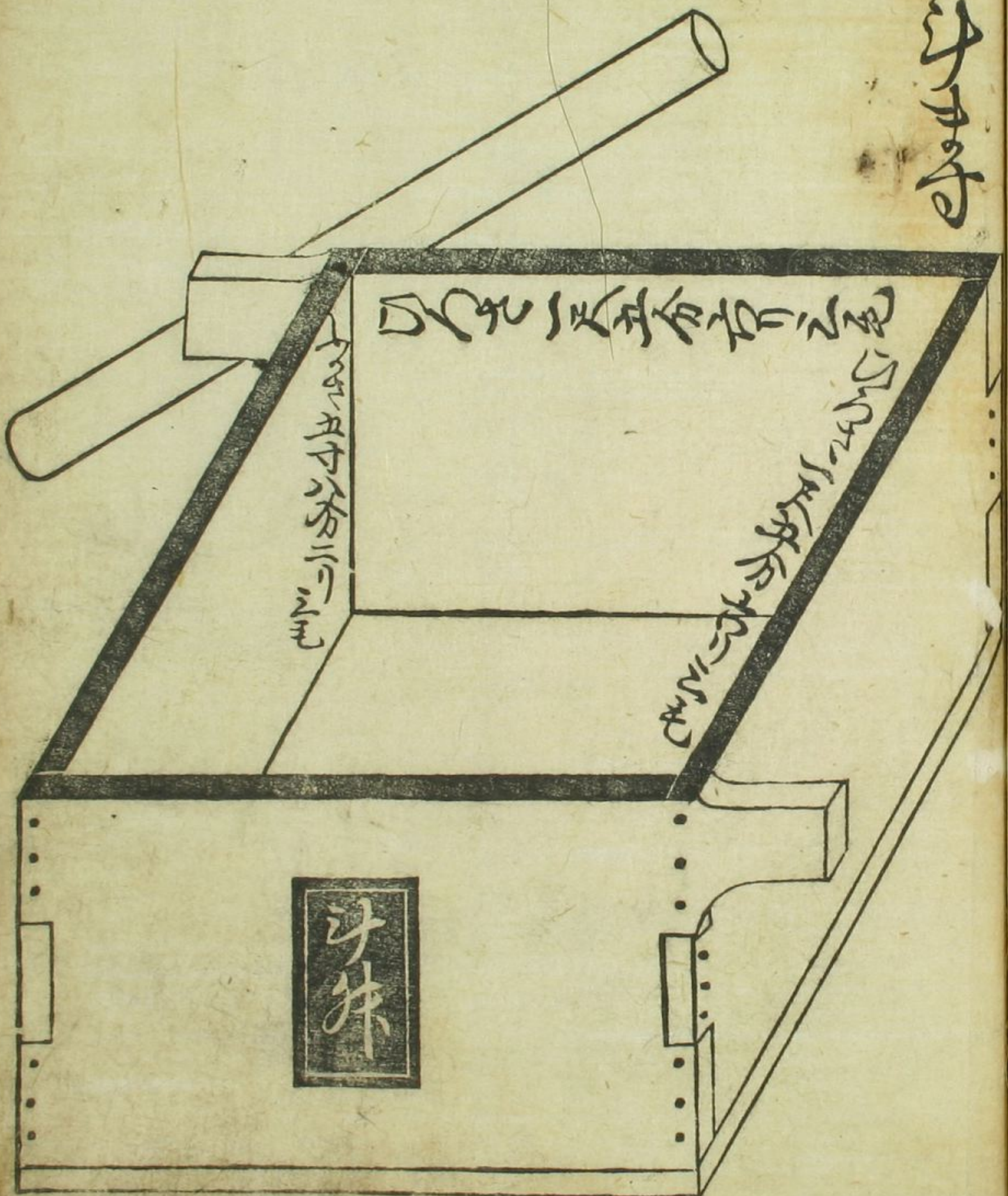
○五合五方

ひろき 五寸二分七毛

中巻



○軍持



○軍持

ひらき 七寸七分七厘  
うき 四寸二分八厘

○軍持

ひらき 六寸三分七厘  
うき 四寸二分八厘

○軍持

ひらき 六寸二分八厘  
うき 四寸二分八厘

○軍持

ひらき 六寸二分八厘  
うき 四寸二分八厘

○軍持

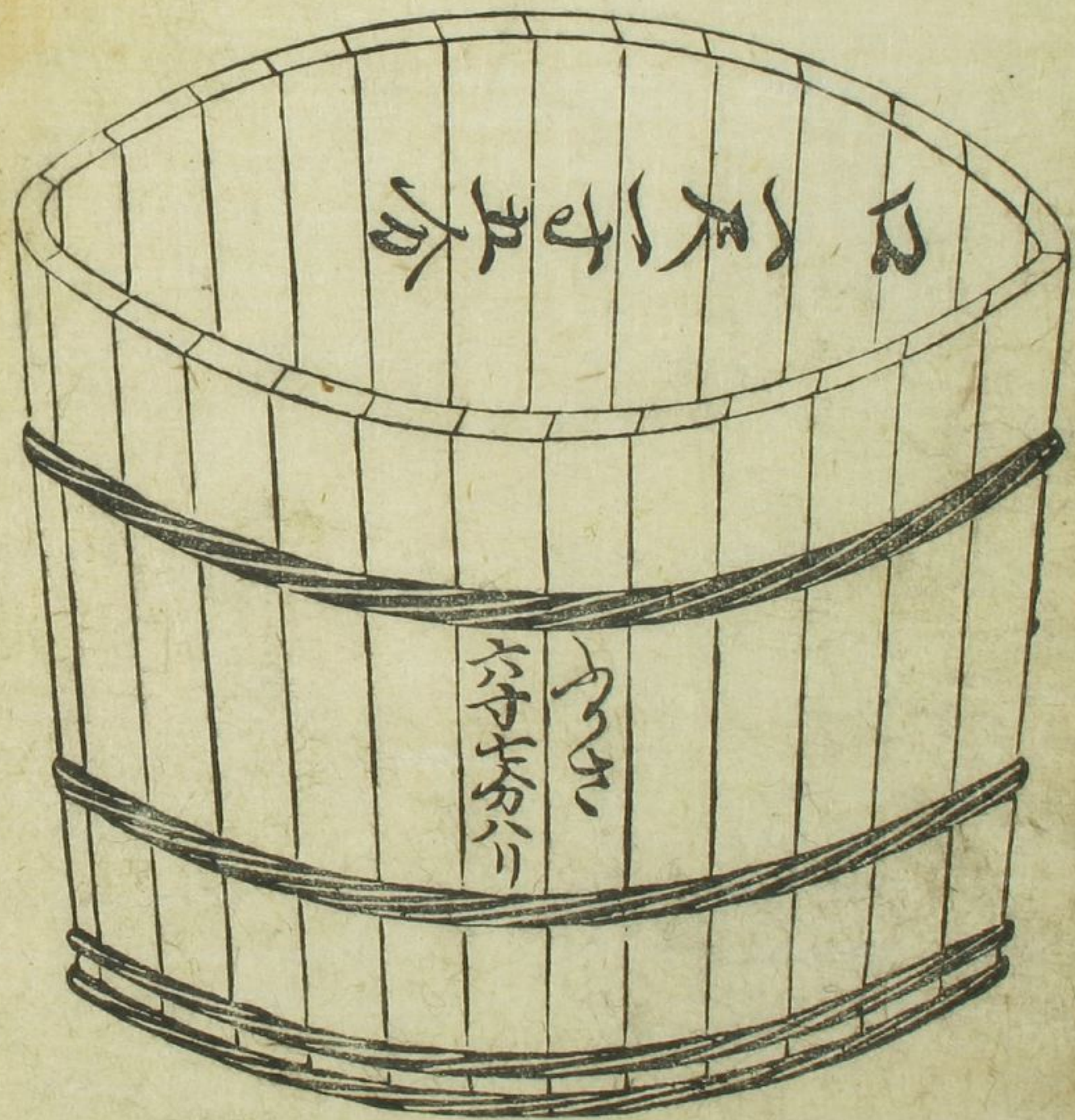
ひらき 六寸二分八厘  
うき 四寸二分八厘

○軍持

ひらき 一尺二寸五分四厘  
うき 四寸二分八厘



○<sup>とさき</sup>沙桶

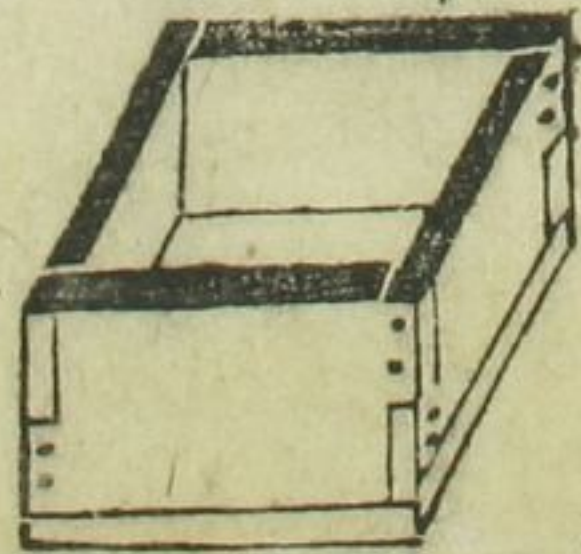


六寸五分

一回むら<sup>ま</sup>辣の法れ

○一合ます

ひろき 二寸五分  
あさき 一寸七分六厘



○二合ます

ひろき 二寸九分  
あさき 一寸四分六厘

○三合ます

ひろき 三寸二分四厘  
あさき 一寸七分

○四合ます

ひろき 三寸六分  
あさき 一寸四分



○五合中り守

ひろき 三寸五分六リ  
うまさ 一寸九分八リ

○六合中り守

ひろき 四寸二分一リ  
うまさ 二寸一分四色

○七合中り守

ひろき 四寸四分一リ  
うまさ 二寸二分一リ

○八合中り守

ひろき 四寸七分三リ  
うまさ 二寸三分一リ

○九合中り守

ひろき 四寸九分二リ  
うまさ 二寸四分一リ

○一斗中り守

ひろき 五寸  
うまさ 二寸五分

○一斗半中り守

ひろき 八寸五分四リ九毛  
うまさ 四寸二分七リ四毛

○二斗中り守

ひろき 一尺七分七リ二毛  
うまさ 五寸二分八リ六毛

○しほ判て五斗五合五分  
○古す守て五斗五分七分



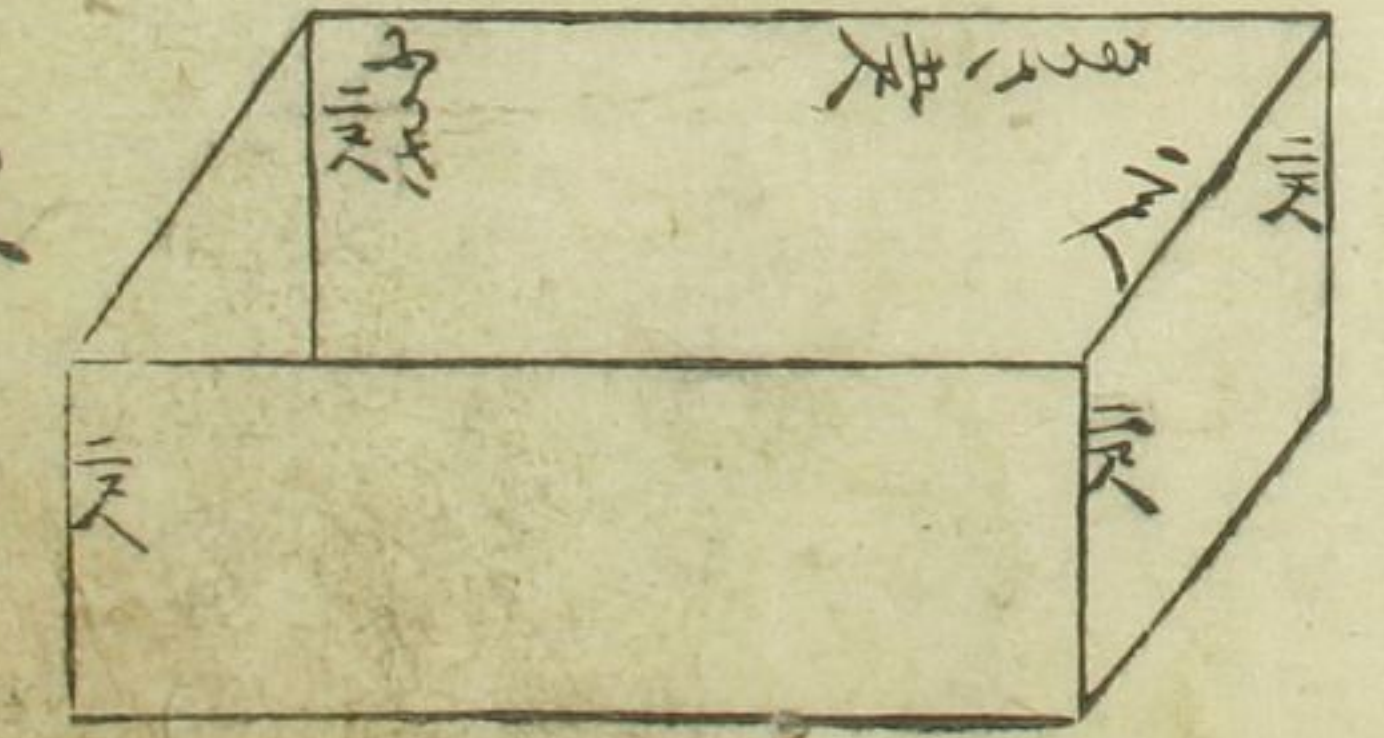
1斗5合



法一上の寸のち一わしーと下の寸乃さし  
 わしーとあはせて二尺四寸ありこむを二ツふ  
 わし一尺二寸とあはれを九布よ置くこれと  
 一四四とあはれいひよさき七寸とくか時一  
 一下下八とあはれよ四きは七九をくこれと  
 七九六三二とあはれを系練の法六四八二七よと  
 四寸時よ一斗二升合ツメとありと  
 一又四むく一ち寸少で積附を右七九六三二  
 これ一十六をくこれ一斗式半七合ツメ也  
 ありと

右とさし大くく小懸時よいひ一垂り  
 けまあひりうりたと寸りりあ物いんまは  
 界のをあはれいひとさし一ちづひまたり  
 半さんとは侍をくよあり

○らま判てこるひ糸め合き入  
 ○古ますてこる二斗入



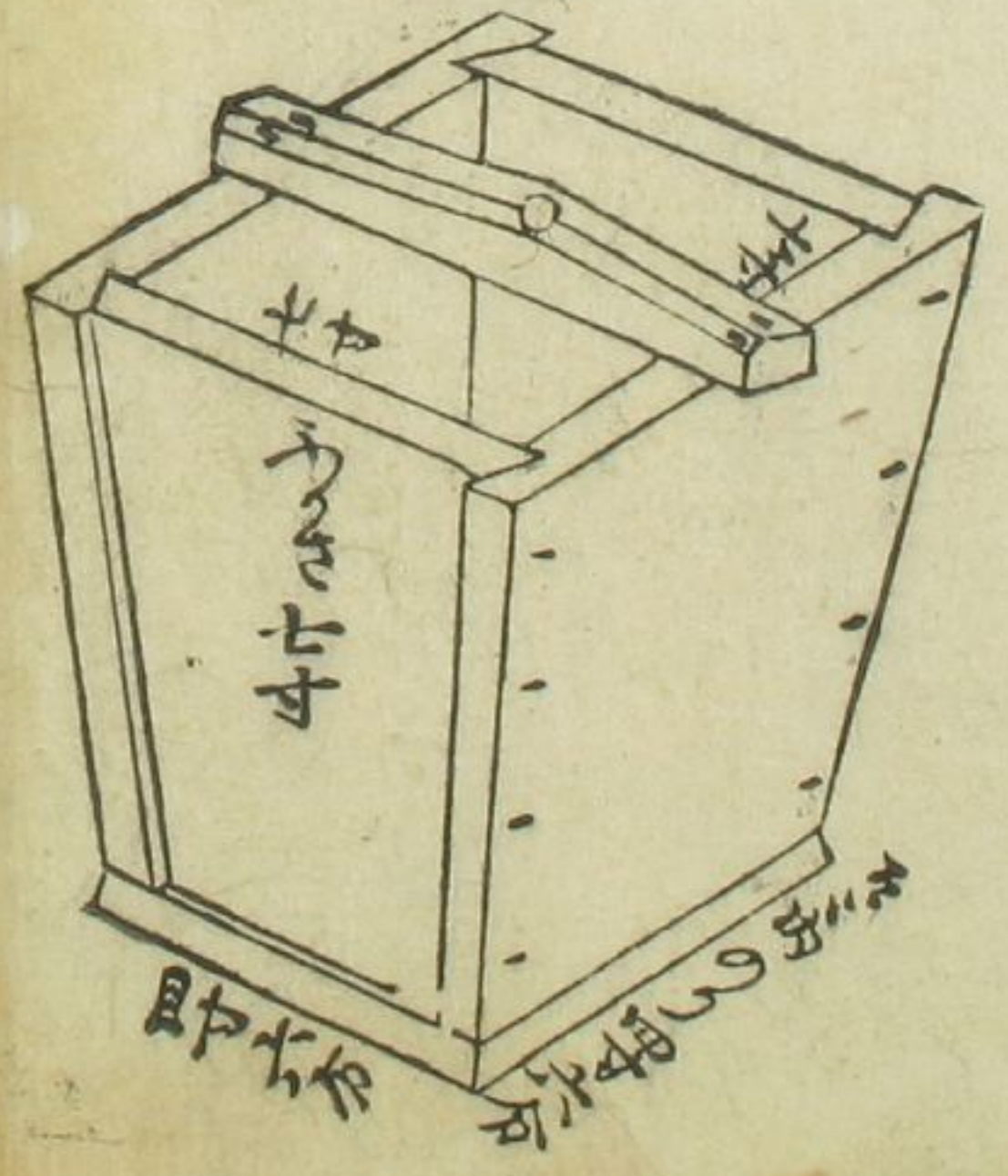
法よをぬえよ横二尺をくこれ十坪と成これよ



言二尺をかくれ廿坪と申あはれよ又ちん練しんの法  
 六四八二七で存く廿坪をまはれらるる軍めつ  
 き夕ゆふやしき夕ゆふ一

又廿坪一十六とくはれ三石二斗とまりし  
 又廿坪を六二五とてわりてもとまりあつかり  
 一乃のあつかり

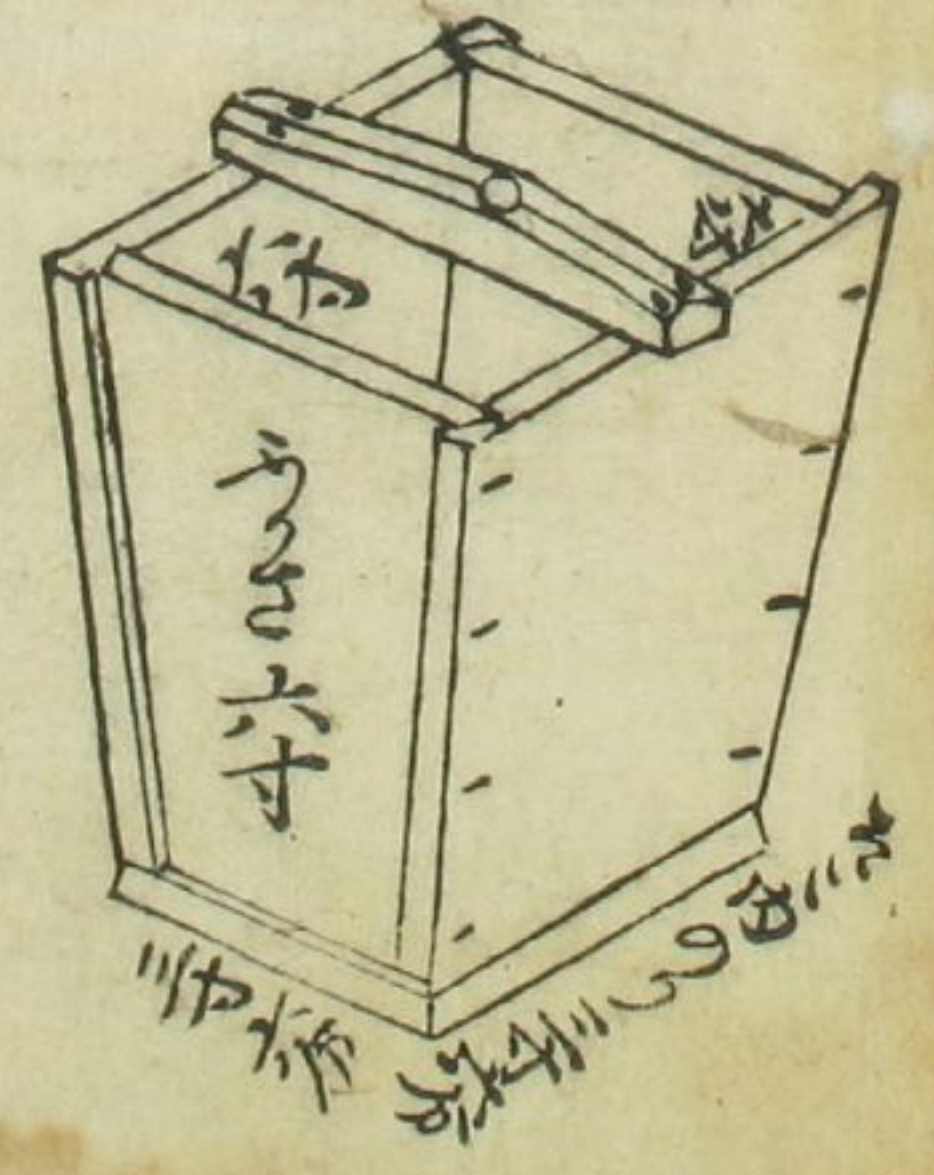
○茶もんで茶一合三夕入



てしかり

○五斗判て茶一合三夕入

○古ますで茶一合三夕入



はよの六斗と下三斗六分と合九寸六分よる  
 こねを二ツよむら計よ四寸り分り一坪これと  
 尤なよ五よかくれもつ斗廿坪或百廿坪四分と成  
 是よ少すくさつ斗くはれ百廿八坪二分四りと成  
 こねをいまはゆとの法六四八二七で存く坪を  
 目いり二斗一合三夕とまりし

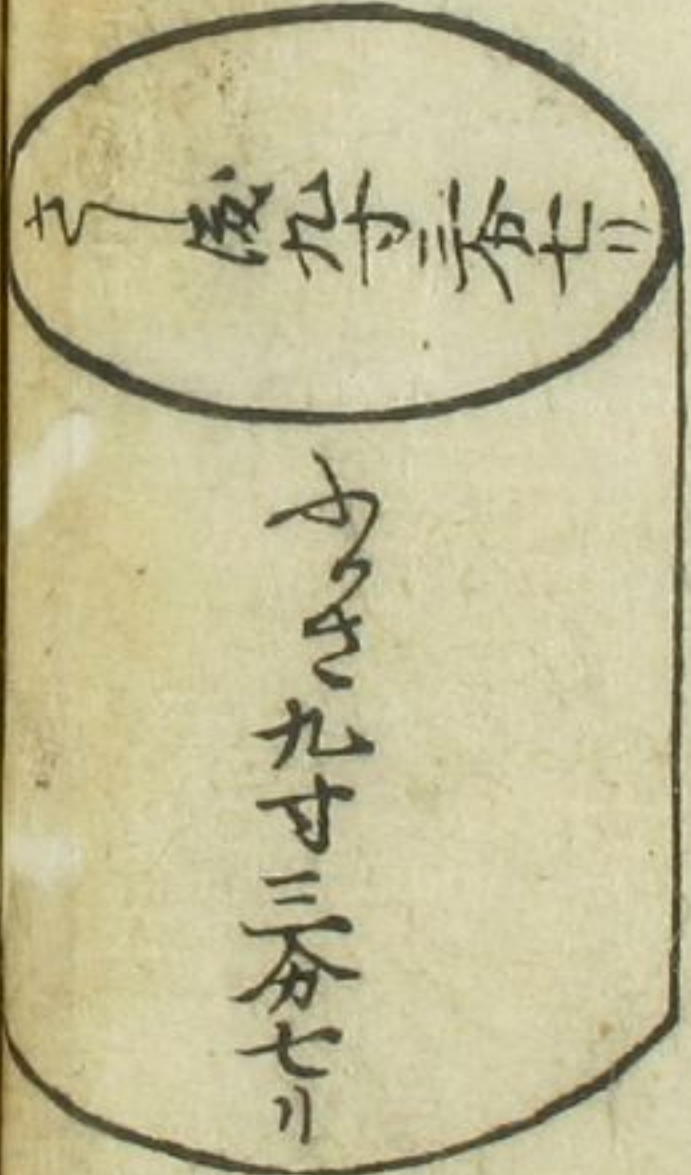


又百廿八坪二分四厘一十六をわくはつたよ  
 二末ら合を夕入やしきる也

右とさん大くは垂附といふけりまらり  
 け四寸よりをとすりりなる物い右と界の  
 ぶきやうりてをきこちづひあるがり但  
 せさんとは信をくりあり

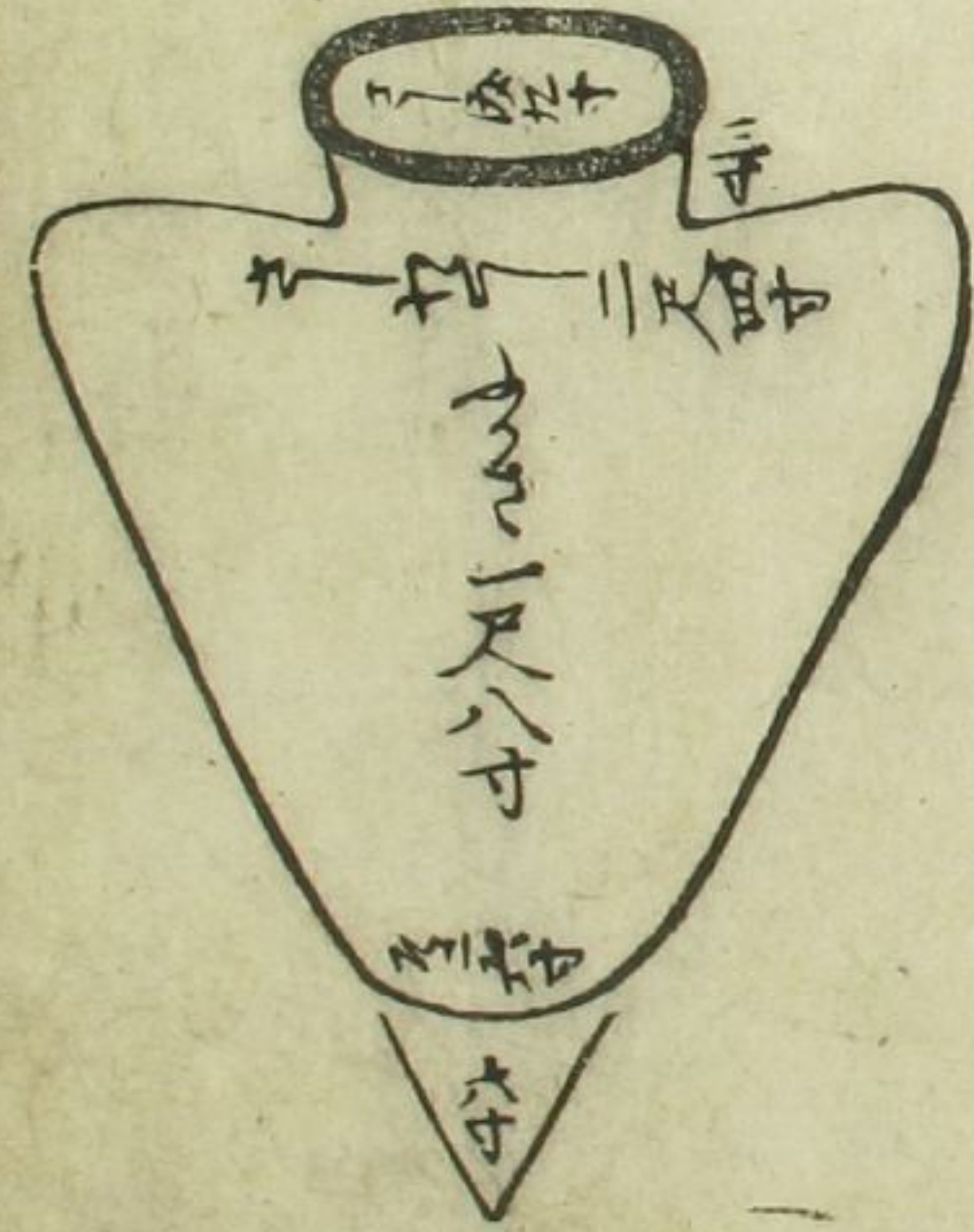
一 きのき斗やう守

○きり入



はよきのきり一わし一カ寸三分七厘と右  
 をきかけてくはよあさ九寸三分七厘けて  
 又きのき法七五をくはとくはよいま練の法  
 六四八二七にそまわのきり一わし一  
 あるがり

○ちち合入

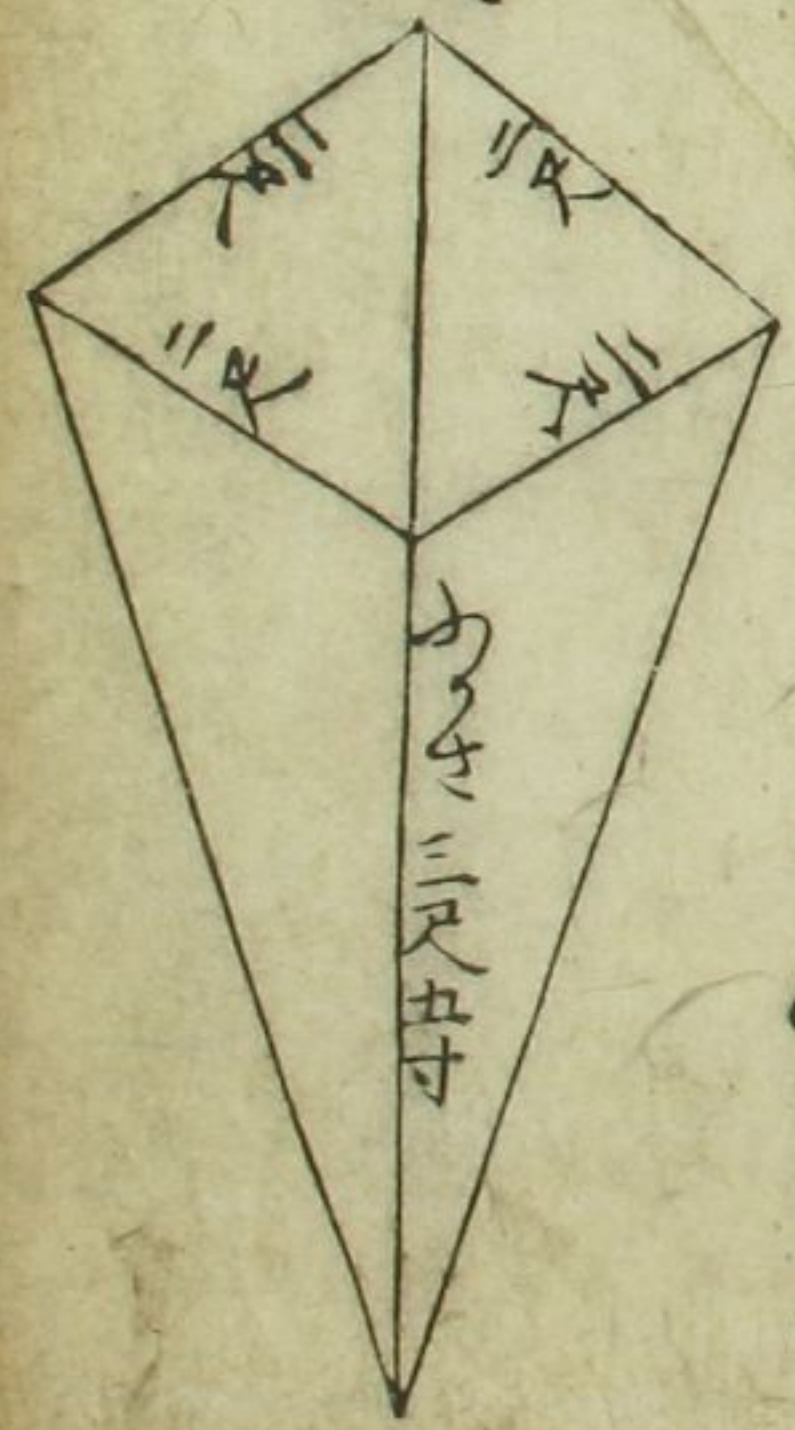


はよき一わし一尺四寸をじりみ



一尺八寸よりそのとりり六寸とくまの対り  
 二尺四寸とるあしを右の五七六ふくくれを  
 一三八二四と成せよ三ころりあし四五六一ぬ二  
 と成あれは四法八とくくれは六四九五三六と  
 かりあしふむくくれは法十六とくくれを  
 ちの軍で合よりりくくろ口九寸を右右り  
 かりあし八一と成くれはさし守とくくれは二四三  
 ころりくくれは四法八とくくれは一九四と成  
 せよま守の法十六とくくれは右時第一合きとく  
 右と二口合の中一木の中きくけ内をくくれ  
 ころりくくれをくくれは六守右右は五くくれは三六  
 と成せよあしとくくれをくくれは二一六とかり  
 ころりくくれは七一八と成せよま守の法  
 八とくくれは五七下二四と成あしはま守の法  
 十六とくくれは合きとくくれは右とくくれは一木の中  
 一タの内を合一タりあしとくくれは六斗の中と成

○七斗の中合九タ二支入





はよ二尺を左右の地をうへれば四と成る事  
少くも三尺五寸をうけて一四と成る事なり  
三三三と成る事四六六二と成る事なり  
十六と成る事七五中事なり又二五と  
成る事



